

3 松山大学司書・司書教諭課程サイトの構築

司書課程担当
早瀬 均

はじめに

司書・司書教諭課程では、受講生への情報提供及び教員間の情報共有の向上を図るため、司書・司書教諭課程サイト（以下「課程サイト」という。）を構築し、平成24年度後期授業から試行した。

1. 課程サイト構築の目的

課程サイトは、司書・司書教諭課程を履修する、あるいは履修しようとしている学生に対して、以下のことを目的として運営することになっている。すなわち、

- ①司書・司書教諭課程に関する情報の提供
- ②図書館関連情報（図書館関係団体の情報、採用情報等）の提供
- ③授業に関する情報（授業資料、科目からの連絡事項等）の提供
- ④演習授業におけるCMS（コンテンツ管理システム）の活用、等である。

加えて、司書・司書教諭課程の教員相互の情報伝達と情報共有を図ることも目的としている。

2. 課程サイトの構築

サイトの構築には、オープンソースソフトウェア（OSS）の NetCommons2（以下「NC2」という。）を採用した。NC2は、国立情報学研究所が開発したOSSで、次のような特徴をもつとされる。

- 「・e-ラーニングサイト
- ・NPOやNGOのためのバーチャルオフィス
 - ・共同研究・学会活動のポータルサイト兼グループウェア
 - ・オフィス用グループウェア
 - ・ソーシャルネットワークサービス」¹⁾

NC2は、上記のサイトの目的を実現する機能はほぼ備えていると思われる、また、国立情報学研究所のプロジェクトがシステムの維持に関わっているということで信頼性やこれからの機能向上も期待できると考えている。

また、サイトの構築は、自前のサーバではなく、クラウドサービスを利用している。NC2については、レンタルサーバにNC2が既にインストールされていて、SaaS(Software as a Service)的に利用できるサイトがいくつかあり、そのなかのひとつを利用している。

3. 課程サイトの構成

課程サイトは、「パブリックページ」、「授業関連情報ページ」及び「プライベートページ」の3つの部分から構成されている。「パブリックページ」は、インターネット上に公開するページ、「授業関連情報ページ」と「プライベートページ」は、科目担当教員と司書・司書

教諭課程の受講生だけがアクセスできるページである。そのために、教員と受講生には、ログインできるアカウントを発行している。

1) 「パブリックページ」

インターネット上に公開する、だれでもがアクセスできるページである。司書・司書教諭課程履修中の学生及びこれから司書・司書教諭課程を履修しようとする学生等を念頭において情報を発信することになっている。

ページは、「メニュー」と「お知らせ」だけのシンプルな構成である。一般向けの情報発信というより、これから司書・司書教諭課程を履修しようとする学生等を念頭においた情報提供を行うことにしているため、このページはあまり更新がない。

(1) メニュー

メニューには横メニューと縦メニューがある。

①横メニュー

サイトの全般的な情報を提供するメニューである。横メニューのページはすべてパブリックページである。以下の5つのページにアクセスできる。

- ・「課程について」ページ：司書・司書教諭課程の概要のページである。
- ・「担当教員」ページ：担当教員のプロフィールを掲載している。
- ・「カリキュラム」ページ：当該年度の開講科目等の情報を掲載している。
- ・「図書館関連情報」ページ：図書館関係サイトへのリンクリスト。国立国会図書館のカレントアウェアネスをiframeで表示しているほか、「図書館関連団体」及び「図書館求人情報」のリンク集ページがある。
- ・「ヘルプ」ページ：学生向けのサイトの利用のしかたを掲載している。



The screenshot shows the homepage of the 'Matsuyama University Course for Librarian' website. At the top right is a 'ログイン' (Login) link. The header banner includes the text '松山大学司書・司書教諭課程' and 'Course for Librarian Matsuyama University'. Below the banner is a horizontal navigation menu with tabs: 'ホーム' (Home), '課程について' (About the Course), '担当教員' (Instructors), 'カリキュラム' (Curriculum), '図書館関連情報' (Library-related information), and 'ヘルプ' (Help). On the left side, there is a vertical 'メニュー' (Menu) section with links for '刊行物' (Publications), '図書館関連情報' (Library-related information), and '松山大学シラバス' (Matsuyama University Syllabus). The main content area contains a welcome message: '松山大学司書・司書教諭課程のウェブサイトです。司書・司書教諭課程に関する情報を提供します。司書・司書教諭課程を履修している皆さんは、ここから授業科目の情報にアクセスすることができます。右上からログインをすると、左カラムのメニューに受講している科目が表示されます。' Below this is an 'お知らせ' (Notice) section with several updates, including curriculum updates for the 2013/2014 academic year, updates to library-related information, and the start of the trial operation of the website.

図1 課程サイトのトップページ

②縦メニュー

- ・「刊行物」ページ: 司書課程年報の目次情報等が掲載されている。
- ・「図書館関連情報」: 横メニューと同じ
- ・「松山大学シラバス」: シラバス検索サイトへのリンク。Inframe で表示される。

なお、受講生がログインすると、この縦メニューに、履修中の授業名が表示され、授業科目のページにアクセスできるようになる。

2)「授業関連情報ページ」

司書・司書課程の受講生に各科目に関する情報(授業で配布する授業資料、教員からの連絡事項など)を提供するページである。授業科目毎にページを作成しており、授業科目のページには当該科目を履修している学生だけがアクセスできる。

授業科目のページには、「お知らせ」と「シラバス」が掲載されている。また、授業科目のサブページとして、「授業資料」ページが設けられている。さらに、「小テスト」ページや「課題解答」ページが設けられることもある。

「授業資料」ページは、授業で使用するレジュメ、その他の授業資料を掲載するページで、受講生は、このページからいつでも授業資料を閲覧、ダウンロードすることができる。

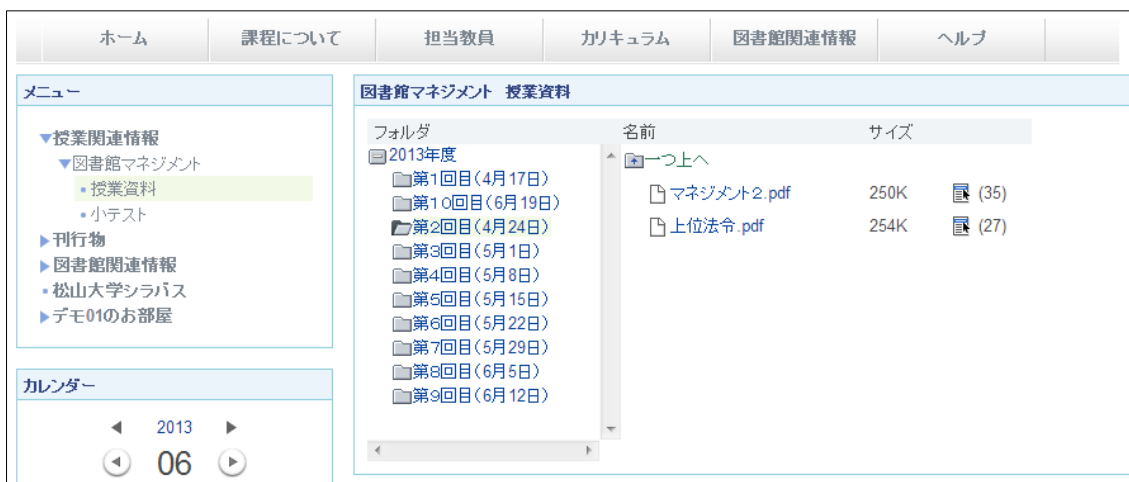


図2 授業資料のページ

3)「プライベートページ」

ログイン後に開かれるアカウント毎のページである。アカウントを持つすべての教員と学生がそれぞれ自分のページをもつ。

NC2は、コンテンツ管理システムであることから、Web上で利用できる機能をモジュールで提供している。このため、ユーザは、利用したい機能をページ上に自由に配置して利用することができる。ただし、教員と学生では、利用できる機能を変更している。

「プライベートページ」へのリンクは、ログイン中は縦メニューの一番下に表示されているので、いつでも「プライベート」ページに戻ることができる。

なお、課程サイトについての詳しい紹介は、「松山大学90周年記念論文集」掲載予定の拙稿をご覧ください。²⁾

【注・参考文献】

- 1) NetCommons Project. “NetCommons の特徴”. <http://www.netcommons.org/%E7%89%B9%E5%BE%B4/>, (参照 2013-07-17).
- 2) 早瀬均. CMS を活用した司書・司書教諭課程における授業運営改善の試み. 松山大学 90 周年記念論文集. 投稿中.